

低気圧に伴う降雨による防災情報(第2報)

新庄河川事務所では、7月22日16時00分災害対策支部(警戒体制・砂防)を設置し警戒にあたっておりますが、立谷沢川流域の月山雨量観測所において降り始めからの連続雨量が80mmを超過、また、寒河江川流域の大井沢雨量観測所において、時間雨量が40mmを超えました。

今後、天候の状況を見て同流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月22日(月) 16時00分 災害対策支部(警戒体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害の恐れがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害の恐れがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害の恐れがある場合

2. 雨量情報(7月22日 18時00分現在)

[立谷沢川流域]

月山雨量観測所 連続雨量91mm(降雨継続中)

[寒河江川流域]

大井沢雨量観測所 連続雨量94mm(降雨継続中)

18時00分 時間雨量45mm

[赤川流域]

枡形雨量観測所 連続雨量100mm(降雨継続中)

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262

副所長(砂防) 齋藤 信哉(内線205)

調査課長 荒澤 慎一(内線351)